

新井中央小だより

No. 311

ホームページ <https://myoko.schoolweb.ne.jp/15020005>

メールアドレス myoko.araichuou-es@edu-niigata.ed.jp

2025(令和7)年10月27日

子どもの成長につながる地域の力

10月18日に開催しました大運動会には、保護者・地域応援席が埋め尽くされるほど多数の地域の皆様にお越しいただきました。子どもたちは、本番で力を出し切りがんばっていました。そして、多くの子どもが一日生き生きと笑顔で過ごしました。保護者・地域の皆様に観てほしいという思いがそうさせたと思います。

当校では、ほとんどのクラブ活動を地域の方に指導していただいている。「アウトドア」「金管」「バドミントン」「おもしろ実験」「手芸」「ペーパークラフト」「プログラミング」「アート」「ボルダリング」「ワールドボード(将棋など)」といったクラブをつくり、地域の先生においていただき、その専門性を学ぶとともに、社会性も育んでいただいている。クラブ活動で見せる子どもたちの姿は、大変落ち着いており、意欲に満ちあふれています。また、総合的な学習の時間や生活科においても、クラブ同様に講師として専門的なことを教えていただいたり、学習の支援者・ボランティアとして助けていただいたりしています。さらに、算数や家庭科のミシンの学習では、地域の皆様に個別指導をしていただいている。昨年度までは、放課後パワーアップの取組がありましたが、今年度はそのパワーアップの先生に算数授業での個別指導の先生としておいでいただき、個に応じた指導の展開を図っています。ミシン学習は、安全面の見守りややミシンの複雑な操作など個の子どもの要求への対応をしていただいている。人権教育、同和教育の指導者など、当校の教育の根幹となる教育活動の講師としてお世話になる地域の先生もおいでです。朝の登校の挨拶指導、下校の見守りやパトロールなど、安全対応も助かっております。

このように、当校の教育活動に、地域の方にどれだけお世話になっているか計り知れません。地域の方から授業に入っていただくことは、子どもたちの学びに向かう力が高まり、教育効果も高いです。そして、規範意識、自己有用感、人間関係能力、他者と共に問題を解決する力などの社会性が育まれていることを確認できます。

このような成果は、当校において早くからコミュニティ・スクール(学校運営協議会)の組織と体制をつくり、取り組んできたことが影響していると考えています。また、社会の中(国の政策)では、コミュニティ・スクールとともに、「地域学校協働本部」をつくり、「地域学校協働活動」を展開することをどの地域でもできるようにすること、そして「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働本部」が両輪となり、子どもの成長のための教育活動を展開できることを目指しています。「地域学校協働本部」は、地域サイドの組織となります。例えば、子どもの成長のために地域人材や地域の行事などを学校の教育活動に取り入れることを提唱しますが、それと同時に地域側のメリット(地域の方のやりがい、地域の行事の活性化)も考えていくことになります。学校と地域が共にメリット(Win-Winの関係づくり)を実感できることを目指すようなイメージです。

おこがましいかもしませんが、「子どもたちの成長を地域の皆様で温かく見守る。また、学校や子どもたちとふれあうことを地域の皆様の心の拠り所や生きがいの場にする。」そんな地域や学校になれたら素敵だと思います。

単元内自由進度学習について

「子どもを真ん中に据え、自立と共生の心を育む学校づくり」のために、新井中央小学校型イエナプランの構築を目指しています。

今年度の校内研究では、どの学年も「単元内自由進度学習」に取り組み、その効果を確かめ、学習のあり方を追究していきます。教科は算数で、または算数と国語の両方で同時に実施します。

単元内自由進度学習は、子ども自身が自分で学習の計画を立て、自分のペースで学習をします。振り返りでは、学んだことを習得できたかどうか自身ではつきりと確認できます。教師は、学びの伴走者になりますが、事前の教材の準備にかなりの時間や労力を要することになります。成果として学びに向かう力が高まるということ、また理解できないと次に進んでいけないこともあるので、より確実に知識や技能、思考力・判断力・表現力が高まるることを期待しています。